



なか かんぞう 中寛三
 まつもと じゆんこ 松本潤子
 わたなべ さとし 渡辺聡
 さとう あかり 佐藤あかり
 さいとら りゆうすけ 齋藤隆介
 せんが いさし 千賀功嗣
 ふくはら まゆみ 福原まゆみ
 さとう れいな 佐藤礼菜
 たき ゆうり 滝佑里
 つじい まこと 辻井亮人
 やまだ さだとし 山田定世
 しいな けいと 椎名慧都
 かまき みお 釜木美緒
 こじま そうた 小島颯太
 やまだ みつお 山田貢央

2023年6月2日(金)～16日(金) 俳優座スタジオ

80th 1944 劇団俳優座 創立80周年記念事業

劇団 俳優座

作・演出 伊藤毅(やしやこ)

劇団俳優座 創立80周年記念事業

No.353

この夜は終わらぬ。

共生、だつて？

中衛手



この夜は終わらぬ。

病院の待合室。ベンチに座る外国籍の若者二人は、手術の行く末を見守っていた。

警察官が事件についての話を聞くが、二人の日本語は拙く、上手く説明が出来ない。

2時間前。今年卒業した夜間中学の生徒を祝う宴会が行われていたが、

近くにいたサラリーマン集団と喧嘩になり、卒業生の日本人生徒が頭に怪我を負ってしまったのだ。

病院に駆けつけわらわらと手術室に入ろうとする生徒達。それを止めようとする看護師。徘徊する老人患者。

一人の生徒が叫ぶ。「テレビで見たよ、輸血でしょ！血足りないでしょ！」

誰かがつぶやく。

「え、ネパール人の血って、日本人でも使えるの？」

多文化共生を語る前に、必要な授業が始まる。

この夜は終わらぬ。



2023年6月2日(金)～16日(金) 俳優座スタジオ

2(金) 3(土) 4(日) 5(月) 6(火) 7(水) 8(木) 9(金) 10(土) 11(日) 12(月) 13(火) 14(水) 15(木) 16(金)



◆初日割引 ★アフタートーク(詳細は後日HPにて) ♥日本語音声ガイド(6/11) ※要予約 事前に劇団にご連絡の上、ご利用ください。

セット割引 本公演と7月公演の2本で8,000円

7月公演 戦争とは…『ボタン穴から見た戦争』と併せてご観劇で最大2,000円引き!

(原作 S・アレクシエーヴィチ 翻訳 三浦みどり 構成・演出 菅田華絵) 7/11～17 俳優座スタジオ

6月1日(木)まで劇団俳優座(電話窓口)でのみご予約受付

ギフトシート

— 視劇体験を次の世代へ —

高校生以下に チケットをプレゼント! 詳しくはこちらより⇒



一般 5,500円 シニア(65歳以上) 5,000円

学生 3,500円 ハンディキャップ 3,300円

初日割引 4,500円 (6/2 19時開演のみ)

前売開始日

2023年4月4日(火) 10:30より

前売所

劇団俳優座 03-3405-4743 / 03-3470-2888 (10:30～18:30 土日祝除く)

Confetti 0120-240-540

http://confetti-web.com/konoyoruwaowaranu



アクセス

東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木駅」6出口すぐ、4a出口より徒歩2分 (エレベーターあり)

お問合せ 劇団俳優座

〒106-0032 東京都港区六本木4-9-2

TEL 03-3470-2888

MAIL ticket@haiyuza.net

美術 杉山 至 照明 廣田 恵理 音響 勝見 淳一 衣裳 イカラシ ヒロコ 舞台監督 宮下 卓 制作 劇団俳優座演劇制作部 制作協力 長尾 敦

宣伝美術 海岸 真紀子 写真撮影 坂内 太 協力 夜間中学校と教育を語る会

伝統と革新の共生

劇団俳優座 創立80周年記念事業

来たる2024年2月10日、劇団俳優座は創立80周年を迎えます。その前後を併せた2023年4月～2026年3月に創立記念事業として【伝統と革新の共生】を基本理念に一年毎のテーマに沿った演目を企画・上演致します。

2023年度 ～他者とつながれるか 私たちの現在地を知る～

2024年度 ～先人たちとつながり 今を考える～

2025年度 ～未来へつなげる 人間の可能性を考える～

2023年度上演作品

老若男女の様々な国の人々が学ぶ夜間中学。現代の日本社会を見つめる

No.353 『この夜は終わらぬ。』

作・演出: 伊藤 毅 (やしやご)

2023年6月2日～16日 / 俳優座スタジオ

戦争は昔話ではない、今も平穏に暮らせない心に傷を負った子どもたちがいる

特別公演 戦争とは…Vol.29

『ボタン穴から見た戦争』

原作: S・アレクシエーヴィチ 翻訳: 三浦みどり

構成・演出: 菅田華絵 音楽: 石塚まみ

2023年7月11日～17日 / 俳優座スタジオ

閉塞した暴力的な家庭と社会、それでも自らの居場所を渴望する

No.354 『ラフタリーの丘で』

作: M・カー 翻訳・ドラマトウルク: 坂内 太

演出: 高岸 未朝

2023年8月29日～9月10日 / 俳優座スタジオ

中国で起きた「売血ビジネス」事件。人間の幸せとは何かを問う

No.355 『The King of Hell's Palace (仮)』

作: F・ヤーチュ・カウウイグ 翻訳: 小田島 恒志

ドラマトウルク: 飯塚 容 演出: 眞鍋 卓嗣

2023年12月20日～27日 / 俳優座劇場

新進気鋭の演出家3名による同一戯曲一挙上演、権力を掌握した独裁者が最後に見た夢は

LABO公演 Vol.40 『スターリン』

脚本: G・サルバトーレ 翻訳・ドラマトウルク: 酒寄 進一

演出: 落合 真奈美、村雲 龍一、中村 圭吾

2024年2月9日～16日 / 俳優座スタジオ

全国巡演

『反応工程』 作: 宮本 研 演出: 小笠原 馨

2023年5月～6月 / 全国演鑑連(九演連)

『雉はじめて鳴く』 作: 横山 拓也 演出: 眞鍋 卓嗣

2023年7月～10月 / 全国演鑑連(中国地区演鑑連・首都圏演鑑連・

神奈川演鑑連・関西演鑑連)

2024年度・2025年度作品に関して劇団HPにて情報公開中。